

開館9周年記念特別展

海野阿育と坂村真民の世界

～ 版画かれんだあに描かれた真民詩～



すずき出版発行「心のうたかれんだあ」(平成9年)より 詩/坂村真民「一輪の花のごとく」画/海野阿育

2021年 2月20日(土) ▶ 6月13日(日)

開館時間 9:00-17:00 (入場は16:30まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日、5月6日)

- 主催 砥部町、砥部町教育委員会、愛媛新聞社、南海放送
- 後援 愛媛県、愛媛県教育委員会、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

坂村真民 記念館 〒791-2132愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL.089-969-3643
<http://www.shinmin-museum.jp/>

次回企画展のお知らせ

「かなしみをあたたためあってあるいてゆこう
～悲しみ苦しむ人々と共に歩む坂村真民の生き方～」
2021年6月19日(土)～10月3日(日)予定
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

坂村真民

開館9周年記念特別展は、これまでと少し雰囲気が変わり、真民詩と版画とのコラボです。昭和63年から、坂村真民の詩を「版画かれんだあ」に描き、独自の絵の世界を表現してきた海野阿育の「版画かれんだあ」の原画を一堂に集め、展示することとなりました。

海野阿育と坂村真民との出会いは、昭和59年に鈴木出版から出された詩画集「自分の花を咲かせよう」の絵を担当したことから始まり、その後も詩画集の絵を描き続けて、真民との交流が続きました。

二人が実際に会ったのは、昭和59年の夏に、鈴木出版の編集者と共に、海野が砥部のタンポ堂を訪ねたのが、最初で最後の「二人の出会い」でした。この時、真民75歳、海野41歳でした。

今回の特別展では、「坂村真民の詩」をモチーフにして、独特な版画を描き「心のうたかれんだあ」という作品を作ってきた海野阿育の版画の中から17点の原画と、真民との最初のコラボ作品である「詩画集3部作の原画」や、真民から送られた手紙とはがきなどを展示して、二人の交流の様子についても取り上げています。

東京芸術大学で日本画を学び、各地の寺院の天井画や襖絵を描いている海野阿育が、真民詩に触発されてその独自の感性で描いた「詩画」は、見るものを不思議な世界に導いてくれます。

海野は「あうんの花」の後記で「真民さんとご一緒させていただいて、これが三冊目の詩画集になります。一冊目は詩に従って描くことで追われました。二冊目は詩の中にある視覚を取り出すことで詩と対峙しました。そして今回は詩が届いて、目を通し始めたとき、迷わずに絵のイメージの立つところを見出しました。」と書いています。

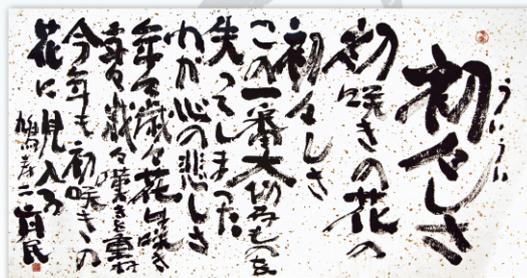
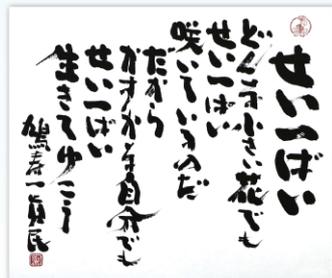
真民詩の世界と海野の絵の世界が自然と溶け合った「コラボ作品」となっていく様子がここに書かれていると思います。

さらに、第2展示室の大型展示ケースには、真民の命の恩人であり、その清貧の生き方に大きく影響を受けた、利根白泉先生の「書画」(初公開)を4点展示しています。あの田中一村が教えを乞うたと言われる利根先生の画家としての作品を是非ご覧ください。

混沌とした日常から少し抜け出して、静かな館内でごゆっくりと真民詩と向き合い、明日への生きる希望を見つけてくだされば幸いです。



海野阿育



坂村 真民 (さかむらしんみん)

詩人。1909年(明治42)熊本県生まれ。戦後、愛媛県の高校の教師をしながら、詩を書き続ける。「念ずれば花ひらく」、「二度とない人生だから」など、人々に生きる勇気と希望を与える詩を多数残している。2006年(平成18)97歳で永眠。



海野阿育 (うんのあしよか)

画家(元鶴見大学短期大学部 教授)
1943年(昭和18) 東京都に生まれる。
1968年(昭和43) 東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。
1974年(昭和49) 鶴見大学女子短期大学部非常勤講師として就職。
保育科で「絵画制作」を担当し、専任講師、助教授を経て鶴見大学短期大学部 教授。
1988年(昭和63) 同大学を定年退職。
2004年(平成16) 現在 鶴見大学短期大学部同窓会生涯セミナー講師としてご活躍。

関連イベント

【記念講演会】

海野阿育先生

「真民さんの詩を版画かれんだあにする」

- 日 時: 2月20日(土) 10:30~11:30
- 会 場: 砥部町商工会館(記念館斜め前)
- 入場方法: 特別展チケットを提示してください。先着200名

【ミニ講演会】

坂村真民記念館 西澤館長

- 日 時: 2月21日(日) 11:00~12:00
- 会 場: 記念館会議室
- 入場無料: 先着40名

観覧料

観覧料	前売券	当日券
一般	500円	600円
高齢者(65歳以上) 高校生・大学生	400円	500円
小中学生	300円	400円

※15名以上の団体は団体割引いたします。障害者手帳等をお持ちの方は当日料金の半額で入場できます。障がい者手帳等をご提示ください。※なお上記の料金で常設展もご覧いただけます。

【入場券販売所】坂村真民記念館、愛媛新聞旅行、愛媛新聞社の県内支社(東予支社四国中央を除く)・エリアサービス・四国中央テレビ(取り寄せ)、愛媛県美術館新館ミュージアムショップ、いよてつ高島屋、フジグラン松山、県内明屋書店(一部店舗を除く)、コープえひめ生活文化サービス、ローソンチケット(Lコード61513)、チケットぴあ(セブン-イレブン(Pコード685-516))



坂村真民記念館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL.089-969-3643
<http://www.shinmin-museum.jp/>

- 普通車約100台、大型バス駐車可
- 交通案内
- 【お車の場合】◎松山自動車道 松山ICから国道33号利用
- ◎所要時間: 10~15分
- 【松山市駅からの場合】
- ◎伊予鉄道路線バス(砥部線(大街道経由))「断層口」または「大岩橋」行き「砥部焼伝統産業会館前」下車
- ◎所要時間: 約50分



次回企画展のお知らせ

「かなしみをあたためあって あるいてゆこう
~悲しみ苦しむ人々と共に歩む坂村真民の生き方~」

2021年6月19日(土)~10月3日(日) 予定
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)